

No. 92

2014年(平成26年)

3月1日

発行

浄土真宗本願寺派

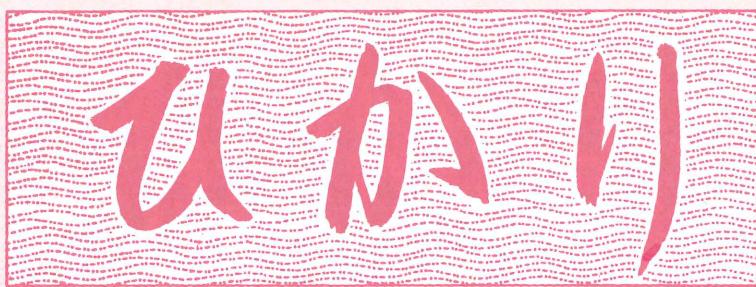
和歌山教区日高組

責任者

片桐淨映

才市や何処にある
淨土貰うて娑婆にある
これがよろこび
ナムアミダブツ

妙好人
浅原才市翁



第19回 日高組真宗法座

「舍利弗、われいま諸仏の不可思議の功德を称讃するがごとく、かの諸仏等もまた、わが不可思議の功德を称説して、この言をなさく。釈迦牟尼仏、よく甚難希有の事をなして、よく娑婆国土の五濁悪世、劫濁・見濁・煩惱濁・衆生濁・命濁のなかにおいて、阿耨多羅三藐三菩提を得て、もろもろの衆生のために、この一切世間難信の法を説きたまふ、と」

ここからは、おシャカ様と諸仏がお互いにほめあつているところです。そうして、信心を更に勧められるのです。

諸仏がアミダさまをほめているのは東西南北下上方の仏さまのところにありました。おシャカ様も諸仏と同じくアミダさまのすばらしさを褒め称えているところです。二つの難が説かれている。成仏と説法の難です。

成仏とは、亡くなることではなく、仏になることです。ここでは、五濁悪世に仏になることは難しいということです。

「五濁悪世」とは、劫濁・見濁・煩惱濁・衆生濁・命濁のことです。五つの濁りにみちた悪い世の中のことです。

劫濁とは、時代の濁りです。戦争、疫病、飢餓、天災などが増大するということ、まさにいま、テロの恐怖や地球温暖化など、世界規模で不安をかかえています。見濁とは、思想の濁りで、よこしまな思想、かたよった見方のことです。また、自己中心的な人が増えています。道ばたに座り込む、電車の中でお化粧をする、携帯電話やメールをする、飛行機内で酔つて暴れる中年男性、いつたいどうなつているのでしょうか。公の場と私的な場の区別がつかない人が増えているように思います。

(永原智行)

阿
弥
陀
經
に
聞
く

命の花

去年の暮れ、テレビのニュースで高校女子の活動について放送されたので、内容をメモしました。

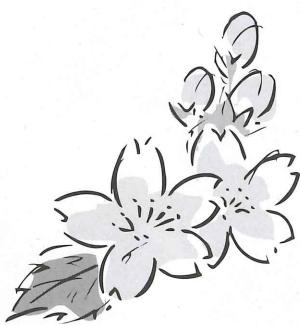
彼女達の話し合いから始まります。彼女達は動物好きです。人間の都合で捨てられた動物が保護されていりました。行きのバスの中は旅行気分です。保護施設に着き、担当者から説明を聞きました。動物達の命も最後は処分されると知りショックを受けます。帰りのバスの中は、重苦しい雰囲気です。

学校に帰つて五、六人の生徒は命について考えます。先生から骨が肥料となることを聞かれます。生徒達は、骨を肥料とし、花を植えようと決め、それをレンガで碎く作業にかかります。涙を流しながら、碎いた骨を少しづつ鉢にまきます。種を植え、水をまき命の花を育てます。

後日、花の咲いた鉢植え
阿弥陀如来は「一切の衆生を救う」と言されました。「教行信証」に「諸有の人民、蜎飛（空を飛ぶ虫）、蠕動（うごめくうじ虫）の類まで救う」（真仏土文類より）と言われています。

また、植物なども救われます。草などは、地面で育ちますが、寒さに耐え、足でふまれても、根があるから逃げることはできません。それでも、耐えて小さな花を咲かせて見せてくれます。

九条武子様の詩に「見づや君、明日をちりなん花だに も、力のかぎり一時を咲く」と歌われています。私達に生きる力を与えてくれるようです。



官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、ご感想・ご意見等を明記の上、下記までお送りください。

〒649-1223
日高郡日高町小浦195
円行寺内 日高組事務所

※抽選で10名の方に粗品を進呈いたします。

※締め切り日
平成26年5月20日（必着）

※発表は次号

を地域の人に配る活動をしていることを知りました。きっと、その生徒達は心に安らぎを感じたことでしょう。

阿弥陀如来は「一切の衆生を救う」と言されました。

「どんなことがあってもお前を救う」と呼んで下さるお心をいただけたと感じるのであります。毎日が安らかにすごせると、いたくばかりです。

（上西偕行）



浄土真宗の宗祖は誰ですか？

次の1～3の中から一つ選んで番号を書いてください。

1. 法然聖人
2. 親鸞聖人
3. 日蓮聖人

91号の正解は、「3. 極楽浄土」でした。

正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

由 良 町 上道千津代 様	由 良 町 中崎工ミコ 様
由 良 町 小林 民子 様	由 良 町 川口アヤ子 様
由 良 町 磯寄美千代 様	由 良 町 坊岡 和美 様
由 良 町 浜上由美子 様	由 良 町 久保千代子 様
御 坊 市 塩田 廣一 様	

日高組寺院めぐり

覚性寺（由良町吹井）

第十四世住職

埜崎 教信



覚性寺

日高組通信

☆行事報告

・真宗法座

日高組御同朋の社会をめざす運動（実践運動）重点

講師

II 和歌山教区教務所長

参加人員

II 各寺院の総代35名

II 由良町里、蓮専寺

☆行事予定

・実践運動推進委員会開催

日時 三月八日（土）午後二時から

・法統繼承式

西本願寺住職と浄土真宗本願寺派門主を務める大谷光淳新門（30）が両職を継承、第25代門主に就任される。

寺第八世蓮如上人の法話を聞いて淨土真宗に帰依し、同年四月八日、方便法身尊形（阿弥陀如来画像）を授かり、懇道場（念佛者の集会施設）を建立したのが覚性寺の開基となります。

寛永十二年（一六三五）一月、本願寺第十三世良如上から木仮本尊阿弥陀如來を下賜され、また同時にその際「覚性寺」という寺号を公に名乗る事を許されました。この時に寺院として

本堂が流出。その後すぐに再建されず、約七〇年後の安永七年（一七七八）八月、津波を危惧し現在地である山手へ本堂が再建。その後も、再建・補修を繰り返しながらも現在地に覚性寺は在り続けています。

当寺の年中行事としては、春・秋の彼岸会・盂蘭盆会・元旦会・報恩講が主なものであります。

また、一月又は二月に総報恩講として、本堂にて法要を勤修させて頂いております。

・日高組総代会後期研修会 開催日時・場所 II 平成26年1月25日（土）、午後1時30分～

・仏教婦人会総会・物故者法要 日時 四月二九日（祝）会場 由良地区予定

の体が整った訳であります。本堂については、元々現存の地に建立されていた訳ではなく、元々は別の吹井の地にあったようです。

昨今南海沖地震の発生が叫ばれて久しいですが、宝永四年（一七〇七）十月、大地震があり、津波により本堂が流出。その後すぐに再建されず、約七〇年後の安永七年（一七七八）八月、津波を危惧し現在地である山手へ本堂が再建。その後も、再建・補修を繰り返しながらも現在地に覚性寺は在り続けています。

当寺の年中行事としては、春・秋の彼岸会・盂蘭盆会・元旦会・報恩講が主なものであります。

また、一月又は二月に総報恩講として、本堂にて法要を勤修させて頂いております。

・日高組「定期組会」開催 日時 三月二九日（土）午後二時

鷺森別院輪番
高橋格昭師

平成二五年度の総括と成二六年度の計画について協議いたします。委員各位にはご出席をお願いいたします。

研修テーマ

II 「お寺は変わる」

内容（主旨）

・過疎、少子高齢者地域における寺院の活性化に向けて

・日高組「定期組会」開催

日時 三月二九日（土）午後二時

会場 志賀妙願寺
組会に先がけ、寺族・門徒総代・責任役員の物故者追悼法要を行います。

その後、平成二五年度の事業報告・決算報告、次年度の事業・予算について、ご審議をお願い致します。

各寺院の組会議員の皆様にはご出席頂きたく宜しくお願い致します。